

# 図書館だより



宇都宮市立星が丘中学校 令和2年11月号



朝晩が寒くなり日中との温度差があります。風邪をひかないように気をつけましょう。また、日没も早くなりました。秋の夜長、読書を楽しんでください。今月は、校内読書週間があります。図書委員が準備をしていますので、ぜひ図書室へ足を運んでください。



## しおりコンテスト

## 優秀作品決定！！



10月23日～11月4日までしおりのデザインの募集を行いました。11月5日～9日に投票を行い、優秀作品を決定しました。

この作品のデザインをいただき、校内読書週間で、本を借りたり、イベントに参加したりした人に、その複製のしおりを配付する予定です。詳しくは、また後でお知らせします。



- ・3年5組Kさん
- ・3年6組Nさんの作品です。

しおりのデザイン募集や投票に参加して下さった生徒のみなさん、ありがとうございました。



## 校内読書週間

11月27日(金)～12月11日(金)

この期間は校内読書週間です。本好き・図書室好きのみなさん、いつもはなかなか図書室に来られない人も、ぜひ、本を借りてみませんか？

- \*学年の利用日を守ってご利用ください。
- \*マスク着用や手指の消毒、「密」を避ける利用へのご協力をお願いします。

### <図書室>

- ・しおりの配付
- ・「BOOK RALLY」の実施 …
- 本を借りて、スタンプをためましょう！

### <教室>

- ・ブックトーク…図書委員によるおすすめの本の紹介です。朝の読書の時間に、クラスの図書委員がおすすめの本を紹介します。



## 絵本とのコラボ給食

11月4日に、星が丘地域学校園の「絵本とのコラボ給食」が実施されました。今回のテーマは、宮崎駿：原作「天空の城ラピュタ」でした。



徳間書店



- ・パズーの目玉焼きのセパン・ゆで野菜
- ・牛乳・青じそドレッシング
- ・いちごゼリー

# ♪秋の夜長に読みたい音楽の本特集！♪

## ～ベートーベン生誕250年記念～



### BEETHOVEN

本名：ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーベン  
1770年12月6日、ドイツのボンに生まれる。  
「楽聖」とよばれている。「運命」「田園」「歓喜の歌」など有名な曲を多数作曲している。



#### 『どこかでベートーベン』 中山七里/著 宝島社

ニュースでかつての級友・岬洋介の名を聞いた鷹村亮は、当時起きた殺人事件のことを思い出す。岐阜県立加茂北高校音楽科の面々は、九月に行われる発表会に向け、夏休みも校内での練習に励んでいた。そんな中、豪雨によって土砂崩れが発生し、一同は校内に閉じ込められてしまう。そこで、校内から抜け出したクラスの問題児・岩倉が何者かに殺害される…。中山七里の音楽ミステリー。



#### 『この人を見よ。歴史をつくった人びと伝 ベートーベン』 ポプラ社

ベートーベンが、3歳から父にピアノの指導を受け、めきめきと腕を上げた。14歳くらいには、宮廷の楽団のオルガン奏者に任命される。ベートーベンが、生涯に作曲したピアノのための曲は、80曲。「もっと音楽家が自由に表現できる楽器をつくりたい！」とチェンバロを改良し、今のピアノに発展させていった。引越し80回、ワイン好き、好きになった人に曲を送るなどベートーベンの素顔がわかる。



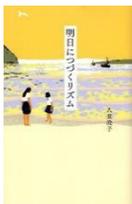
#### 『くちびるに歌を』 中田永一/著 小学館

長崎県五島列島のある中学校に、産休に入る音楽教師の代理で美人ピアニスト柏木がやってきた。合唱部の顧問をすることになるが、男子生徒の入部が殺到。合唱部内は、練習にまじめに打ち込まない男子と女子の対立が激化する。一方で、柏木先生は、Nコン（NHK全国学校音楽コンクール）の課題曲「手紙～拝啓十五の君へ～」にちなみ、十五年後の自分に向けて手紙を書くよう、部員たちに宿題を課した。



#### 『グライチオーソ』 山口なお美/著 角川書店

県大会すら考えなかった弱小吹奏楽部。そこに現れた謎の美人教師の指導によって、部活は様変わりする。吹奏楽にすべてをささげるさわやかな青春ストーリー。勉強、友情、恋…。それぞれの悩みを乗り越えて生まれ変わっていく吹奏楽部の部員たちを描いている。



#### 『明日につづくリズム』 八束澄子/著 ポプラ社

一島をでたい。高校受験を前に、夢と現実のあいだでゆれ動く千波。大好きなポルノグラフィティの歌に自分をかさね、家族、友情、将来、ふるさと…自分を取りまくさまざまなことに思いをめぐらせながら、おとなへの一歩を踏み出していく、少女たちの成長の物語。



#### 『響け！ユーフォニアム』 武田綾乃/著 宝島社

北宇治高校吹奏楽部は、過去には全国大会に出場したこともある強豪校だったが、今の成績は振るわなかった。新しく赴任した滝昇の厳しい指導のもと、生徒たちは着実に力をつけていった。だが、ソロを巡っての争いや、勉強を優先し部活を辞める生徒も出てくるなど、波瀾万丈の毎日。そんななか、いよいよコンクールの日がやってくる。



#### 『蜜蜂と遠雷』 恩田 陸/著 幻冬舎

3年ごとに開催される芳ヶ江国際ピアノコンクール。「ここを制した者は世界最高峰のS国際ピアノコンクールで優勝する」というジンクスがあり、近年、覇者である新たな才能の出現は音楽界の事件となっていた。4人の天才的なピアニストたちの、競走と言う名の自らの戦いを描いている。誰が、その頂点に立つのか。本を読んでいるのに、その曲のピアノの音色が聞こえてくるような作品。直木賞と本屋大賞をダブル受賞している。

## 本の返し忘れはありませんか？



図書の返却の期限は、2週間です。次にその本を読みたいと待っている人がいるかもしれません。読み終わったら、早めに返しましょう。読み終わらない時も、期限内にいったん返しましょう。